

教科用図書の調査研究報告書（総括）

種目名	社 会（公民的分野）
-----	------------

発行者	総合的な所見
東 書	第1の観点 ①見開きごとにタイトルを示し、タイトルの上にサブタイトルを示している。タイトルの右横に学習課題として「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 ②「対立と合意」「効率と公正」の扱いについて、身近な学校での問題や地域の問題を取り上げ、対立から合意に至る話し合いの手順を「みんなでチャレンジ」で考えさせている。 ③「国際社会における国家」という単元の中で「国旗と国歌」というタイトルで示されており、領土をめぐる問題については本文に係る資料・コラムに記載されている。 第2の観点 ④「持続可能な社会の実現に向けて、私たちは何ができるのでしょうか。」と持続可能な社会の形成に関わる課題を設定し、「効率と公正」といった見方・考え方を活用させるために本文等に記載されている。 ⑤単元末において、学習課題、学習活動を設定し、思考ツールや資料を基にまとめるように示している。 第3の観点 ⑥「探究課題」では、キャラクターの吹き出しで「～整理しましょう」「どのように」という問いを、「探究のステップ」では各節の問いを示しており、単元全体の学習に見通しをもたせる等、探究的な学習が設定されている。 ⑦持続可能な社会形成に関わる課題例が掲載され、「1 課題の設定（課題把握）『持続可能な社会の形成者として』」「2 資料の収集と読み取り（課題探究）『持続可能な社会を実現するために』」「3 意思決定」「4 提案参加『中間発表（スライド作成）』『最終発表（レポート作成）』」のように課題解決の手順が示されている。 第4の観点 ⑧総ページ数は246ページ。全体を5章構成とし、各章を3～5節に分けている。総節数は17節。

	⑨各章末に『深めよう』を設定し、生活に関わりのある学習課題が提示され、社会とどのように関わるか、社会をどのように築いていくかを考える活動が設けられている。 第5の観点 ⑩第3章「現代の民主政治と社会」における絵図、写真等の掲載は283点である。それぞれに脚注を記載している。 ⑪ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、本文ページのレイアウトを統一し、資料の掲載部分に薄い色を付け、本文との区別をしている。
教 出	第1の観点 ①見開きごとにタイトルを示し、タイトルの下にサブタイトルを示している。タイトルの右横に学習課題として「どのような」「どのように」「何をするかが」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 ②「対立と合意」「効率と公正」の扱いについて、身近な学校での問題や地域の問題を取り上げ、対立から合意に至る話し合いの手順を示している。 ③「国際社会を構成する国」という単元で「国旗と国歌」というタイトルで示されており、「日本の領土をめぐる問題」の単元で「領土をめぐる問題」というタイトルで示し、本文に係る資料・コラムに記載されている。 第2の観点 ④持続可能未来のために「私の提案『自分を変える、社会を変える』つくろう」を作成する中で、持続可能未来を実現するための探究の方法をSDGsの視点から掲載している。 ⑤単元末において、学習課題、学習活動を設定しており、「『HOP!』『STEP!』『JUMP!』」を設け段階的に思考ツールや資料の提示がされ、まとめていくように示している。 第3の観点 ⑥各節のテーマと問いを示しており、また章全体の問いを示すことで、これから学習する章全体の内容や学習のねらい、学習する際の視点を捉えさせている。二次元コード「語句クイズ」が設けられており、いつでも復習できるようになっている。 ⑦持続可能な社会形成に関わる課題例が掲載され、「1 持続可能な未来をつくるために、私たちに必要なことはどのようなことでしょうか。」「2 私の提案『自分を変える、社会を変える』を作成するに

	は、どうしたらよいのでしょうか。」「3『私の提案』をもとに対話を行うと、さらにどのような未来が描けるのでしょうか。」のように課題解決の手順が示されている。 第4の観点 ⑧総ページ数は270ページ。全体を6章構成とし、各章を2～4節に分けている。総節数は17節。 ⑨各章末に「『HOP!』『STEP!』『JUMP!』」を設定し、SDGsと関連させて「未来のためにできること」を考える問いを設けている。 第5の観点 ⑩第3章「私たちの暮らしと民主政治」における絵図、写真等の掲載は206点である。それぞれに脚注を記載している。 ⑪ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文ページのレイアウトを統一している。
帝 国	第1の観点 ①見開きごとにタイトルを示している。タイトルの右横に学習課題として「どのように」「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習課題の見通しを示している。 ②「対立と合意」「効率と公正」の扱いについて、地域の問題を取り上げ、対立から合意に至る話し合いについて、ロールプレイの学習課題を設定している。 ③「国家と国際社会」という単元で「国旗と国歌」というタイトルで示されており、領土をめぐる問題については、「領土をめぐる取り組み」という単元で扱っている。 第2の観点 ④「持続可能な社会」形成のために何をすべきかというレポートを作成し、社会的な課題を解決する方法を探究させている。 ⑤単元末において、学習課題、学習活動を設定しており、思考ツールや図を用いて知識を整理、問いを考える、問いをまとめるように示している。 第3の観点 ⑥キャラクターの吹き出しで、「～していきましょう」で何を学習するのかを示し、イラストを読んだり見たりする活動を通して章全体の見通しをもたせている。 ⑦持続可能な社会形成に関わる課題例が掲載され、「1課題を決めよう（課題の設定）」「2資料を集めよう（資料の収集と読み取り）」

	「３考察しよう（考察）」「４レポートを書こう（構想とまとめ）」のように課題解決の手順が示されている。 第４の観点 ⑧総ページ数は２６２ページ。全体を５部構成とし、各部を章・節に分けている。総章数は６章、総節数は１６節。 ⑨各章のなかに『アクティブ公民』を設定し、ディベートやロールプレイなど、具体的な事例に対する課題解決を目標にした活動を設けている。 第５の観点 ⑩第２部第２章「政治と私たち」における絵図、写真等の掲載は２００点である。それぞれに脚注を記載している。 ⑪ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文ページのレイアウトを統一している。
日 文	第１の観点 ①見開きごとにタイトルを示している。タイトルの下に学習課題として「どのように」「どのような」という問いかけの形態で１時間の学習の見通しを示している。 ②「対立と合意」「効率と公正」の扱いについて、身近な学校での問題や地域の問題を取り上げ、「アクティビティ」で効率と公正の考え方について例をイラストで示し、効率と公正の観点から適切であるかどうかを考える学習課題を設定している。 ③「国家と国際関係」という単元で「国家と国家主権」というタイトルで示されており、「日本の領土をめぐる問題」の単元で「日本の領土をめぐる問題」というタイトルで示されている。本文に係る資料・コラムに記載されている。 第２の観点 ④「持続可能な社会」のためにこれからの社会をどうしたいかというレポートを作成し発表する中で、持続可能な社会を実現するための探究の方法を掲載している。 ⑤単元末において、学習課題、学習活動を設定しており、思考ツールや資料を基にまとめるように示している。 第３の観点 ⑥漫画についてイラストに吹き出しを加えながら問いを示し、興味・関心を高める資料や説明文を掲載している。各編の導入部分で、学習内容についての課題を設定し、見通しを示している。

	⑦持続可能な社会形成に関わる課題例が掲載され、「１テーマの設定」「２資料の収集と読み取り」「３考察と構想」「４まとめと評価」のように課題解決の手順が示されている。 第４の観点 ⑧総ページ数は２７４ページ。全体を４編構成とし、各編を章・節に分けている。総章数は８章、総節数は１３節。 ⑨編末や章末に『チャレンジ公民』を設定し、チャートやグラフの作成、話し合いの活動を記載している等、現代社会の課題に関心がもてるように工夫されている。 第５の観点 ⑩第２編第２章「国民主権と日本の政治」における絵図、写真等の掲載は３０５点である。それぞれに脚注を記載している。 ⑪ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文ページのレイアウトを統一している。
自由社	第１の観点 ①見開きごとにタイトルを示している。タイトルの下に学習課題として「～とは何だろうか」「どうして」「どう～だろうか」という問いかけの形態で１時間の学習の見通しを示している。 ②「対立と合意」「効率と公正」の扱いについて、身近な学校での問題や地域の問題を取り上げ、対立から合意について「ここがポイント！」で説明している。 ③「国家と国際関係」の単元で「国旗と国歌」というタイトルで示されており、「国家と国際関係」という単元で「わが国の領域に関する課題」というタイトルで示されている。本文に係る資料・コラムに記載されている。 第２の観点 ④「持続可能な日本社会をつくるため私たちに何ができるか」というテーマの卒業論文を作成するなかで、持続可能な社会を実現するための探究の方法を掲載している。 ⑤単元末において、学習課題、学習活動を設定しており、着目するポイントや表が提示され、まとめるように示している。 第３の観点 ⑥大単元の導入において、１ページにイラストを掲載し、単元名の下に、単元の内容についての問いを示している。 ⑦持続可能な社会形成に関わる課題例が掲載され、「１課題をみつけよう」「２選択した課題について調べよう」「３解決の方法を考えてみ

	よう」「4 卒業論文にまとめる」のように課題解決の手順が示されている。 第4の観点 ⑧総ページ数は270ページ。全体を7章構成とし、各章を2～4節に分けている。総節数は16節。 ⑨各章のなかに『アクティブに深めよう』を設定し、食料問題や防災問題など多くの問いを設け、調べ、話し合い、まとめ、発表する活動を設定している。 第5の観点 ⑩第3章「日本国憲法と立憲的民主政治」における絵図、写真等の掲載は120点である。それぞれに脚注を記載している。 ⑪重要語句はゴシック体（太字）を使用し、本文ページのレイアウトを統一している。
育鵬社	第1の観点 ①見開きごとにタイトルを示している。タイトルの右横に学習課題として「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習課題の見通しを示している。 ②「対立と合意」「効率と公正」の扱いについて、身近な学校での問題や地域の問題を取り上げ、「見方・考え方」で「効率・公正の観点から適切？話し合ってみましょう？」や「合意の仕方について考えてみましょう」という学習課題を設定している。 ③「国家と私たち」という単元で「国旗・国歌」というタイトルで示されており、「領土・領海をめぐる問題」という単元で「日本の領土をめぐる問題」というタイトルで示されている。本文に係る資料・コラムに記載されている。 第2の観点 ④「よりよい社会」を築いていくための国づくり構想のレポートを作成し、持続可能な社会を実現するための探究の方法を掲載している。 ⑤単元末において、学習課題、学習活動を設定しており、思考ツールや資料を基にまとめるように示している。 第3の観点 ⑥各章の導入部分で、「学習するにあたって」を設定し、各章で考えることを示し、また各節の見出しと「節の課題」を一覧で示し、章全体の見通しをもたせている。 ⑦持続可能な社会形成に関わる課題例が掲載され、「1テーマを決めよう」「2課題探究の計画を立てよう」「3プレゼンテーションしよう」

	う」「4内容の見直し」「5レポート作成」のように課題解決の手順が示されている。 第4の観点 ⑧総ページ数は262ページ。全体を5章構成とし、各章を2～4節に分けている。総節数は14節。 ⑨章末に「章の『これから』（出口）」を設定し、ランキングシートを作成する、ポスターツアーを行うなどの活動を設定している。 第5の観点 ⑩第3章「私たちの生活と政治」における絵図、写真等の掲載は232点である。それぞれに脚注を記載している。 ⑪ふりがなにはゴシック体を使用し、本文ページのレイアウトを統一している。
--	--